

世界へ発信する伝統的な農業システムの継承と価値を共有する仕組み作り

「世界農業遺産」地域である「にし阿波」に息づく特色ある農法や農産物、山村文化などを世代の隔たりなく発信することで、この地域と関りをもった全ての人々との価値の共有を図り、持続可能な地域づくりへと昇華する。



「にし阿波ギフトセット」の商品カタログ

「にし阿波」地域の特徴的な雑穀や加工品などを組み合わせ、「雑穀」「ごはんのお供」「お茶請け(和・洋)」の4つのギフトセットを試作した。

プラットフォームの形成

▶ DMOが中心となり、生産者、加工事業者、産直市設置者のほか、福祉施設、広告・デザイン関係などの異業種からなるプラットフォームを構築した。

LFPパートナー数 | 11社・団体

2022.3現在

主な取組内容

- ▶ にし阿波地域の価値や魅力を広く発信するため、教育旅行に参加する生徒・学生等を通じて特色ある農法や文化を伝える仕組みづくりに取り組んだ。
- ▶ 雑穀など地域の商品を詰め合わせたギフトセットを試作し、情報発信媒体とすることを試みた。
- ▶ 今後本商品を教育旅行の学習教材に活用したり、SNS等を活用し旅行前後で消費者と交流するなど、にし阿波地域のファンづくりに取り組む。

県産麦の多様性と産業の広がりを最大限に活かす

香川県の「麦」を軸として、地域の食と農に関する多様な関係者が連携し、県産麦の付加価値拡大と持続可能なフードビジネスの創出を目指す。



香川県産の小麦と希少糖を使い、どら焼き、ロールケーキ、オリーブクッキーを開発した。オリーブクッキーのパッケージにはバガス素材(サトウキビの残渣)を採用し、県内のデザイン学校の生徒がデザインした。

プラットフォームの形成

▶ 洋菓子店を中心とした生産から販売までのフードチェーンのみならず、生産者・研究機関、流通・販売事業者、空港、金融機関など多数の異業種からなるプラットフォームを構築し、県産小麦の活用を推進した。

LFPパートナー数 | 10社・団体

2022.3現在

主な取組内容

- ▶ 県オリジナル品種小麦「さぬきの夢」のうどん以外への活用用途を開拓し、普及を図るため、今年度は洋菓子店が中心となり、製粉会社と希少糖関連商品メーカーが連携してスイーツを開発した。
- ▶ 今後は、県産小麦の風味や食感等の特徴を活かした商品化のノウハウを広く事業者間で共有し、香川県の麦文化の醸成につながるよう多様な商品・サービスの開発を目指す。